

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標1 市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

具体的方策	1-1 誰もが文化芸術に日常的に親しめる環境の整備
	重点方策 年齢、障がいの有無、経済的な状況等に関わらず、身近な場所で日常的に文化芸術に触れ、親しむことのできる機会の提供等を通じ、誰もが文化芸術に携わるとともに、気軽に集える「居場所」として活用できる環境の整備を進めます。
	1-2 市民の自発的かつ主体的な文化芸術活動への支援 市民の文化芸術に対する関心や創造意欲を創出するきっかけづくり、そして継続的な文化芸術活動につなげていく取り組みを、多様な担い手と協力、連携をしながら、個々の状況に応じて、相談や創造、発表の機会および場の提供等の支援を行います。
	1-3 芸術性の高い文化芸術を鑑賞する機会の充実 市民が、喜びや感動を味わうとともに、芸術的感性を磨き、創造意欲を高めていくことができるよう、トップアーティスト等による芸術性の高い文化芸術作品や舞台芸術を鑑賞する機会を充実させます。
	1-4 文化芸術の力を社会へ生かす取り組みの推進 文化芸術には福祉や産業、まちづくりといった市民の生活に関わるあらゆる分野への波及効果のほか、人と人との出会いや交流のきっかけを生み、そのつながりを深めることが期待されています。これらの分野に関わる施策との協力、連携を深め、文化芸術の力を広く社会へ生かす取り組みを推進します。

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】											
モニタリング項目 :計算式等	過去1年間に1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	80.0%	10人中8人が文化芸術を鑑賞している状態にすることを目標としました。									
実績値	H25 74.0%	H26 -	H27 -	H28 75.0%	H29 -	H30 65.9%	R1 -	R2 -	R3 43.9%	R4 -	R5

【項目2】											
モニタリング項目 :計算式等	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	40.0%	各事業において、文化芸術を体験する機会を増やし、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 35.0%	H26 -	H27 -	H28 34.0%	H29 -	H30 30.5%	R1 -	R2 -	R3 17.8%	R4 -	R5

【項目3】											
モニタリング項目 :計算式等	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合 :総合計画に関する市民意識調査で測定										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	59.5%	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年2%ずつ増加させることを目標としました。									
実績値	H25 39.5%	H26 -	H27 -	H28 45.7%	H29 -	H30 60.2%	R1 -	R2 -	R3 48.2%	R4 -	R5

資料1

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】 ・概要	名称	実績値				
			H30	R1	R2	R3	R4
1	芸術鑑賞事業の開催 【やまと芸術文化ホール】 音楽、演劇、舞踊、美術、映像など幅広いジャンルの芸術作品を鑑賞できる機会を提供する。	公演数(入場者数)	11件 (7,603人)	10件 (8,715人)	6件 (1,799人)	9件 (4,079人)	8件 (5,960人)
2	人材育成・普及事業の実施 【やまと芸術文化ホール】 誰もが文化芸術を気軽に楽しめるよう、ロビーコンサートやアウトリーチ活動を展開する。	実施回数(参加人数)	5件 (698人)	5件 (348人)	0件 0人	4件 (150人)	5件 (398人)
3	一般公募展【書・絵画・写真】の開催 【文化振興課】 市民からの作品を募集、展示し、優れた作品を表彰する。	出品作品数 (総来場者数)	307点 (5,144人)	322点 (3,553人)	257点 (2,371人)	268点 (2,422人)	241点 (3,002人)
4	一般公募展【短歌・俳句・川柳】の開催 【文化振興課】 市民からの作品を募集、展示し、優れた作品を表彰する。	出品作品数 (総来場者数)	171点 (977人)	161点 (中止※)	268点 (中止※)	185点 (325人※)	256点 (371人)
5	コミュニティ音楽館の開催【文化振興課】 市民にとって身近な施設であるコミュニティセンターを会場に、ミニコンサートを開催する。	1館平均の来場者数 (総来場者数)	89.8人 (1,437人)	76.3人 (992人※)	中止※	中止※	62.5人 (875人)
6	イラストを使った魅力的な生活空間の創出 【文化振興課】 YAMATOイラストコンペ入賞者等を活用し、幅広い世代の市民が文化芸術を身近に感じ、楽しむことのできる仕掛けを展開する。	生活空間にコンペ入賞者等の作品を活用した件数	3件	3件	3件	3件	3件
7	生涯学習振興補助金の交付 【文化振興課】 市民及び団体から提案された文化、芸術などの事業について、選考会議で審査を行い、補助金を交付する。	補助金交付件数	2件	2件	0件	3件	2件
8	大和市民芸術祭の運営支援 【文化振興課】 市民で構成する市民芸術祭実行委員会に対し、事業運営等に関する助言や会場使用の支援などを行う。	市民芸術祭の参加団体数 (総来場者数)	15団体 (2,032人)	13団体 (2,158人)	中止※	6団体※ (483人)	9団体 (1852人)
9	後援名義の付与【文化振興課】 市民が主体的に実施する事業に対して、後援名義を付与する。	市の後援名義使用申請件数	39件	41件	18件	26件	32件
10	文化芸術振興のための基金の管理 【文化振興課】 市民等からの寄附金を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理する。	基金に対する寄附金の受入れ件数の合計	3件	3件	0件	28件	35件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況	
評価・課題	対応状況
R1 「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」が大幅に上昇しましたが、市の文化芸術事業への参加者の年代等に偏りが見られることから、より幅広い市民が参加しやすい環境を整えます。	新型コロナウイルス感染症の影響により従来の文化芸術事業の中止や、感染症対策を徹底したうえで展示等の事業は実施しました。さくら文芸祭一般公募展において、小中学校へのチラシ配布により小学生(102名)からの応募がありました。
R2 文化・芸術に関する市民アンケートより、文化芸術鑑賞および活動を行った市民がコロナの影響により減っています。感染拡大防止策を徹底したうえでの事業実施やオンライン配信動画の活用など、コロナ禍における新たな事業手法を検討いく必要があります。	新型コロナウイルス感染症対策による制限が緩和されたことにより、事業の実績は、全体的に前年度を上回る結果となりました。やまと芸術文化ホールでは、コロナ禍において、ライブ配信ができる環境を整えたほか、初の試みとなる、ギャラリーでの「オンライン展覧会」を実施しました。
R3 「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」は、前回の調査から大きく減少しましたが、コロナ禍の文化芸術に触れる機会が減少したことが大きく影響していると考えられます。まずは、コロナ禍前の状態に戻す取り組みを進める必要があります。	新型コロナウイルス感染症対策による制限が緩和され、令和4年に入り全ての文化芸術事業ができました。また、来場者数や参加状況もほぼコロナ禍前の水準に戻りました。やまと芸術文化ホールにおいても、コロナ前の状況にもどりつつあり、令和4年は引地台小学校にインリーチで「やまと寄席」を実施し、その中で舞台と楽屋の見学等の特別企画を盛り込み、次世代育成の場の創出をしました。
R4 コロナ禍で一時期大幅に落ち込んだ芸術鑑賞事業の入場者数は回復傾向にありますが、依然としてコロナ前の水準に戻っていません。事業を実施する指定管理者に幅広い年代の方の関心と呼ぶ公演内容の検討を求めつつ、引き続き、広報やまとや文化百花も活用し、市と指定管理者協力のもと、効果的なPR活動に努めます。	
R5	

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標2 地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

具体的方策	2-1 歴史的資源の保存、継承、活用の推進
	重点方策 市内に存在する歴史的資源を市民の貴重な財産として確実に後世に継承するため、文化財の調査、修復、保存を適切に行うとともに、これらを大和の魅力を形成する一つとらえ、歴史および文化を生かしたまちづくりのため、鑑賞機会の提供等の積極的な活用を推進します。
	2-2 地域の歴史・文化を知り、学ぶ機会の充実 地域の歴史や固有の文化、生活に根ざして発展した祭や年中行事は、大和の地域文化への理解を深め、地域への愛着を育むことから、歴史文化施設のほか、学校や図書館、その他公共施設等でこれを知り、学ぶ機会を充実させます。
2-3 大和らしい歴史的・文化的景観の発掘、発信 映画やTV、CM等の撮影ロケーション地としてのプロモーション、撮影支援を行うフィルムコミッション事業等を通じて、歴史が感じられる街並みや文化的景観等の大和らしい景観を掘り起し、広く発信します。	

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合 :総合計画に関する市民意識調査で測定										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	45.5%	文化財に対する関心を高める取り組みを進め、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 39.2%	H26 -	H27 -	H28 38.3%	H29 -	H30 42.3%	R1 -	R2 -	R3 38.4%	R4 -	R5

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	歴史文化施設の利用者数 :郷土民家園(カウンター数)+つる舞の里歴史資料館+鶴間ふるさと館利用者(入園者・入館者)数										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	61,200人	郷土民家園(カウンター数)、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館利用者3館の入園、入館者数を過去5年の最高値(61,216人)を目標としました。									
実績値	H25 41,405人	H26 44,502人	H27 43,346人	H28 43,787人	H29 39,997人	H30 54,443人	R1 47,760人	R2 37,516人	R3 50,280人	R4 42,607人	R5

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	つる舞の里歴史資料館企画展の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で実施										
目標値(R5年) ・目標値の設定理由	20.0%	本イベントの魅力やPRし、認知状況を毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 30.0%	H26 -	H27 -	H28 31.0%	H29 -	H30 13.8%	R1 -	R2 -	R3 19.1%	R4 -	R5

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】 概要	名称	実績値				
			H30	R1	R2	R3	R4
1	市指定重要有形文化財などの指定 【文化振興課】 所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定する。	指定件数	32件	32件	32件	32件	32件
2	埋蔵文化財の調査 【文化振興課】 市事業主の協力を得て、開発工事の着手前に緊急発掘調査を実施する。	市が実施した埋蔵文化財緊急発掘調査件数	17件	18件	19件	23件	18件
3	文化財愛護講座、つるまい土曜講座の開催 【文化振興課】 市民に身近な文化財を知ってもらい、郷土意識を高めるための講座を開催する。	開催回数 (総参加人数)	13回 (324人)	10回※ (139人)	1回※ (50人)	2回 (30人)	1回 (35人)
4	つる舞の里歴史資料館企画展の開催 【文化振興課】 市域に限らず、多様な文化財を紹介する企画展を開催する。	実施回数 (総来場者数)	1回 (901人)	1回 (896人)	1回 (665人)	1回 (1806人)	1回 (417人)
5	郷土民家園文化事業の開催 【スポーツ・よか・みどり財団】 地域の生活文化を知ることのできる年中行事、教室、展示などの企画事業を行う。	開催回数	39回	37回※	10回※	19回※	35回
6	下鶴間ふるさと館文化事業の開催 【文化振興課】 地域の生活文化を知ることのできる年中行事、教室、展示などの企画事業を行う。	開催回数	14回	13回※	8回※	15回※	14回
7	出張授業等の実施 【文化振興課】 地域の文化遺産を知り、学ぶことのできる出張授業や出前講座を実施する。	実施回数	3回	2回	0回	0回	2回
8	ショートムービーコンテストの開催 【イベント観光協会】 大和市の魅力を引き出すストーリーのある映像作品を募集し、優れた作品を表彰する。	応募作品数	17点	8点	0点※	0点※	12点
9	フィルムコミッション事業の実施 【イベント観光協会】 大和市の歴史的、文化的景観を市内外に広くPRするため、映画、TVドラマ等のロケーション撮影に伴う支援や誘致を行う。	作品誘致件数	46件	28件	49件	41件	36件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況

	評価・課題	対応状況
R1	歴史文化施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により減少しています。施設再開後は、利用者数の回復に向け、施設のPRと魅力ある事業の実施に努めてまいります。	令和2年6月1日より施設の利用を再開しました。感染症対策の観点から、従来の講座事業の多くを中止せざるを得なかったため、できる限り展示事業に切り替えるなどし、施設のPRと魅力ある事業の実施に努めました。
R2	歴史文化施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館、講座事業の中止等の影響により大きく減少しています。感染状況の動向を注視しながら施設のPRと魅力ある事業の実施に努める必要があります。	歴史文化施設では、一部の講座事業を企画コーナー展示に切り替えるなど、感染症対策の観点を取り入れた事業転換を行いました。また、つる舞の里歴史資料館企画展では、市内在住者の所有する幕末・明治期の伝統工芸コレクション展が話題となり、来場者数が大幅に増加しました。
R3	歴史文化施設の利用者数は、コロナ禍前の状況に戻つつあります。引き続き魅力ある事業の実施に努めるとともに、市民に向けたPRを積極的に行う必要があります。	歴史文化施設では、感染症対策を行いながらコロナ禍前に実施していた多くの事業を復活させることができました。つる舞の里歴史資料館では、前年度に開催した企画コーナー展示を定例化したり、令和4年度に発刊した『大和市の災害史』にちなんだ市域の災害に関する企画展を開催するなど、魅力ある事業の実施に努めました。
R4	歴史文化施設の利用者数は前年度に比して減少し、平成末頃の水準となりました。これまでに好評だった企画展の再実施等も含め、今後も魅力ある事業の実施や学習機会の提供に努めます。	
R5		

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標3 すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

具体的方策	3-1 文化芸術の本物の輝きに触れる機会の充実
	重点方策 子ども、親子を対象とした公演や体験型ワークショップ、美術作品の見方を深めていく美術鑑賞授業等、あらゆる担い手と協力、連携を図りながら、すべての子どもが質の高い文化芸術に触れ、その感動を味わうことで、創造することや本来的なコミュニケーションの楽しさを実感できる機会を充実させます。
	3-2 子どもの文化芸術活動をサポートする体制の整備 子どもたちの文化芸術に対する興味、関心を効果的に引き出すために、様々なジャンルにおいて、子どもの文化芸術活動をサポートするため、文化芸術団体等と協力、連携を図りながら、体制の整備を進めます。
3-3 創造活動の成果を発表する機会の充実 子どもを対象としたコンクールや発表会、展示会等の開催及び支援を行い、子どもたちが文化芸術活動を通して、自己表現を行うことのできる機会を充実させます。	

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	市立小・中学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数 :文化芸術鑑賞・体験授業の年間実施回数合計/全市立小学校数+同/全市立中学校										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	5.0回 3.6回+ 1.4回	芸術鑑賞授業、対話による美術鑑賞授業をすでに全小学校実施していることや授業時間に限りがあることから、毎年いずれかの学校で1回程度ずつ増やすことを目標としました。									
実績値	H25 3.5回	H26 3.8回	H27 4.3回	H28 4.5回	H29 4.7回	H30 5.3回	R1 4.4回	R2 0.6回	R3 2.5回	R4 2.8回	R5

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	対話による美術鑑賞を実施するガイドスタッフ1人当たりの児童数 :美術鑑賞授業に参加した児童数の合計/美術鑑賞授業に参加したガイドスタッフの合計										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	5.0人	子どもたちに質の高い美術鑑賞授業を提供するために必要なガイドスタッフの派遣人数(学校授業13人程度、美術館訪問16人程度)を確保することを目標にしました。									
実績値	H25 5.3人	H26 5.8人	H27 5.0人	H28 5.4人	H29 5.6人	H30 5.9人	R1 6.5人	R2 中止	R3 6.5人	R4 6.9人	R5

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	美術館等に対話による美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合 :対話による美術鑑賞に参加した児童のアンケートで測定										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	85.5%	日ごろの授業を通して、児童が美術作品へ興味を持てるよう指導し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 -	H26 -	H27 -	H28 -	H29 -	H30 80.6%	R1 82.0%	R2 中止	R3 96.6%	R4 96.4%	R5

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	名称	実績値				
			H30	R1	R2	R3	R4
1	対話による美術鑑賞授業の実施 【市立小学校・指導室】 行政、学校、市民(ボランティア)、専門家と連携、協力しながら、市立小学校で対話による美術鑑賞授業を実施する。	実施校数	19校	18校※	0校※	15校※	19校
2	芸術鑑賞学習の実施 【市立小中学校・指導室】 小中学校に芸術家を派遣し、音楽、演劇などの芸術鑑賞、体験学習を行う。	実施校数	28校	28校	5校※	23校	28校
3	学校寄席の実施 【スポーツ・よか・みどり財団】 市立小学校の授業の一環として、日本の伝統芸能である落語を生で聴いて、実際に体験してもらう催しを行う。	実施校数	2校	2校	0校※	0校※	0校※
4	やまと子ども伝統文化塾の開催支援 【文化振興課】 市内在住、在学の子どもたちを対象とした日本の伝統文化体験教室の開催を支援する。	開催教室数	9教室	10教室	6教室	10教室	12教室
5	やまと伝統文化フェスティバルの開催 【文化振興課】 市無形民俗文化財保存会や市内の伝統文化団体、やまと子ども伝統文化塾を受講した子どもたちによる合同発表会を開催する。	総来場者数	1,563人	1,700人	0人※	0人※	1,339人
6	中学校文化連盟芸術祭に対する事業補助 【指導室】 県公立中学校文化連盟大和支部芸術祭に対し、補助金を交付する。	参加生徒数	1,722人	2,225人	0人※	346人	1,909人
7	やまとげんきこアートフェスティバルの開催 【ほいく課】 市内の各保育所の園児が制作した絵画や工作の展示会を開催する。	参加園数 (総来場者数)	39園 (2,297人)	44園 (2,383人)	48園 (1,450人)	50園 (2,179人)	53園 (2,393人)
8	児童館作品展の開催 【こども・青少年課】 児童館を利用している子どもたちが作った工作や工芸作品などの展示会を開催する。	参加館数 (総来場者数)	22館 (863人)	22館 (421人)	0館 (中止※)	0館 (中止)	0館
9	子どもの文化芸術活動をサポートする組織の運営支援【文化振興課】 子どもの文化芸術活動をサポートする組織の運営支援を行う。	サポート組織の支援件数	2件	2件	2件	2件	2件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況

	評価・課題	対応状況
R1	学習指導要領の改訂により、学校教育のカリキュラムが一層過密になっていることから、文化芸術の鑑賞等に係る時間を確保するため、教育委員会と調整をしながら、その手法等を検討します。	新型コロナウイルスの影響より、多くの小中学校での文化芸術鑑賞・体験が中止となりました。 次年度の対話による美術鑑賞事業に向けて、コロナ禍でも安全、安心に実施できるよう、市民ボランティアの研修を行いました。
R2	新型コロナウイルスの影響により子どもたちの芸術文化に触れる機会が減っています。このような状況においても、子どもたちが文化芸術の鑑賞等の時間の確保ができるように教育委員会と検討していきます。	「対話による美術鑑賞授業」について、令和2年度はコロナの影響により全て中止となったため、授業時間を短くしたり、ソーシャルディスタンスを確保するための特別研修を実施したりして、安心・安全に授業を行える態勢を整えました。
R3	学校においても文化活動が再開され、引き続き、子どもたちの文化芸術に触れる機会を確保する環境づくりを進めていきます。 「美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合」が大きく上昇したのは、コロナ禍で長期間様々な制限を受けてきたことから、体験型の授業に子どもたちが例年以上に関心を示したものと考えます。	新型コロナウイルス感染症対策による制限が緩和され、対話による美術鑑賞授業は全19校実施することができました。また、子どもたちが安心・安全に授業が受けられるように、市民ボランティアの研修を実施しました。また、3年ぶりに伝統文化フェスティバルを開催し、発表や体験の実施により、伝統文化に触れる機会の提供ができました。
R4	「市立小・中学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数」は、教育委員会との連絡を密にとり、各校へのきめ細かい周知を行ったことにより、前年度よりも微増しましたが、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていません。引き続き、子どもたちの文化芸術に触れる機会を確保する環境づくりを進めるとともに、事業のPRに努めます。	
R5		

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標4 文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

具体的方策	4-1 文化芸術活動を支える仕組みの整備
	重点方策 年齢、障がいの有無、経済的な状況等に関わらず、誰もが文化芸術振興の担い手として関わることのできる仕組みを整備するため、「文化コーディネーター」や「運営ボランティア」等を育成し、その活動を支援するための制度を設立します。
	4-2 若者の創造活動への支援 豊かな才能を持った若い世代の創造活動の一層の促進を図るため、イラストレーションのジャンルのほか、音楽、演劇等の舞台芸術においても、創造性を最大限発揮し、ステップアップを図ることのできる機会を提供していきます。
	4-3 伝統文化継承者の育成 市民が大和の民俗芸能、伝統文化を習得できる機会を提供し、その継承者の育成につなげるとともに、無形民俗文化財の保存団体等が行う継承活動を支援し、映像等による記録保存を進めます。

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	仮称: やまと文化芸術サポーター制度の設立に向けた調査研究及び人材育成 :-										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	制度 設立	誰もが文化芸術の担い手として主体的に参加できる仕組みを制度化することを目標としました。									
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	-	-	-	-	-	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	イラストレーションデザインコンペの年間応募者数 :イラストレーションデザインコンペに応募した人数の合計										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	470人	過去5年の最高値(463人)を踏まえ、それを上回ることを目標としました。									
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	334人	463人	196人	424人	317人	342人	396人	416人	404人	373人	

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	イラストレーションデザインコンペ入賞者への年間制作依頼件数 :イラストレーションデザインコンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	40件	毎年3件ずつ増やしていくことを目標としました。									
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	13件	26件	17件	12件	19件	20件	16件	11件	20件	21件	

【項目4】

モニタリング項目 :計算式等	やまと子ども伝統文化塾受講者数 :やまと子ども伝統文化塾の受講者数の累計										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	2,200人	過去5年間の平均年間受講者(200人程度)を踏まえ、日本の伝統文化を習得した子どもを倍以上にすることを目標としました。									
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	419人	521人	684人	860人	1,065人	1,356人	1,594人	1,690人	1,894人	2,125人	

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	名称	実績値				
			H30	R1	R2	R3	R4
1	YAMATOイラストレーションデザインコンペの開催【文化振興課】 全国の若者を対象に、イラストレーション作品のコンペを開催する。入賞者は翌年度の市のイベントのポスターなどのイラストレーターとして起用する。	応募作品数 (入選作品展来場者数)	466点 (1,455人)	522点 (1,572人)	595点 (中止※)	511点 (中止※)	478点 (1,264)
2	無形民俗文化財保存会への補助金の交付【文化振興課】 市指定の無形民俗文化財を保存、継承するための補助金を交付する。	交付件数	2件	2件	1件	1件	1件
3	やまと子ども伝統文化塾の開催支援【文化振興課】※再掲 市内在住、在学の子どもたちを対象とした日本の伝統文化体験教室の開催を支援する。	開催教室数	9教室	10教室	6教室	13教室	14教室
4	対話による美術鑑賞ガイドスタッフの登録者数【文化振興課】 市民ボランティアのガイドスタッフを必要な時に、必要な人数を派遣できるよう募集を行います。	対話による美術鑑賞ガイドスタッフの登録者数の累計	54人	44人	47人	47人	64人
5	対話による美術鑑賞ガイドスタッフ養成研修の開催【文化振興課】 市民ボランティアをガイドスタッフとして育成するための研修を開催する。	研修の開催回数	17回	20回※	16回	17回	15回
6	博物館実習生の受け入れ、実習の実施【文化振興課】 博物館学講座を開講している大学の要請に基づき、博物館実習生を受け入れ、つる舞の里歴史資料館などで実習を行う。	実習生数	3人	3人	3人	3人	3人
7	大和 문화百花プロジェクトチーム会議および協力イベント数【文化振興課】 大和 문화百花プロジェクトに参加している市民とともに文化芸術施策について検討します。	会議および協力イベント数 (のべ参加人数)	2件 (16人)	4件 (29人)	0件	0件	0件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況

	評価・課題	対応状況
R1	イラストレーションデザインコンペの出品数は毎年設定するテーマによって増減する傾向が見られることから、審査員と調整しながら、より多くの方が出品していただけるテーマ設定に努めます。	多くの方に出品していただけるように、審査員と調整したうえで、イラストにしやすいテーマ(「希」)を設定することにより、全国から多数の応募があり、出品数は前年度比114%増となりました。
R2	イラストコンペ入賞者への年間制作件数が減少しています。広く企業への周知を図り、依頼件数を増やしていきます。また、昨年度に引き続き、イラストレーションデザインコンペのテーマについては、イラストにしやすいテーマを審査員と調整していきます。	役所内を中心にPR活動を充実させた結果、イラストコンペ入賞者への年間制作件数が増加しました。イラストレーションデザインコンペのテーマについては「笑」を設定し、500件を超える応募がありました。
R3	「やまと子ども伝統文化塾」は、参加者数及び教室数が増加しています。今後も子どもたちが気軽に様々な日本の伝統文化に触れられる機会が増加するよう、PRの充実を図っていきます。	伝統文化塾の開催教室数が増加し、子どもたちの文化芸術に触れる機会が増えました。また、小・中学校全児童にチラシ配布、マス・メディア等で事業PRを行った結果、受講者が増加しました。
R4	今後、イラストレーションデザインコンペのさらなる充実を図るためには、民間事業者の協力が不可欠であり、入賞者の活用促進の働きかけを強化していく必要があります。	
R5		

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標6 多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

具体的方策	6-1 文化芸術を通じた多文化交流の機会の充実
	重点方策 「東京2020大会」を契機として実施される「文化プログラム」をはじめ、日本人市民、外国人市民がともにつくる文化芸術イベントの開催やその参加を支援するなど、文化芸術による多文化交流の機会を充実させます。
	6-2 海外都市との文化芸術交流の推進 市民相互の国際理解と都市間の友好をさらに深めるために、光明市をはじめとする海外都市との音楽や伝統芸能等の文化芸術交流を推進します。
6-3 世界の文化芸術に触れる機会の創出 日本人市民と外国人市民との相互理解を促す契機とするため、国際交流を図るイベント等を通して、外国の文化や芸術に触れる機会をつくります。また、日本の伝統的な文化や地域の文化を外国人市民に紹介する活動を推進します。	

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	多文化共生・国際交流が行われていると思う市民 :総合計画に関する市民意識調査										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	29.5%	第2期計画期間中の達成状況を踏まえ、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 19.8%	H26 -	H27 -	H28 22.3%	H29 -	H30 31.3%	R1 -	R2 -	R3 26.4%	R4 -	R5

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	文化芸術に期待する役割に「多文化共生」を挙げる市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	20.0%	文化芸術による多文化共生社会の現実に対する活動を推進し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 -	H26 -	H27 -	H28 -	H29 -	H30 13.7%	R1 -	R2 -	R3 16.4%	R4 -	R5

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	やまと世界料理の屋台村の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定										
目標値(R5年)・ 目標値の設定理由	35.0%	国際化協会と協力し、本イベント魅力をPRし、2018年度の調査時に認知状況が最も高い大和市文化祭一般公募展(33.0%)を上回ることを目標としました。									
実績値	H25 32.0%	H26 -	H27 -	H28 34.0%	H29 -	H30 16.3%	R1 -	R2 -	R3 27.0%	R4 -	R5

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H30	R1	R2	R3	R4
1	多文化共生会議等の開催 【国際・男女共同参画課、国際化協会】 市民の多文化共生意識を醸成するため、やまとグローバルカフェや外国人サミットを開催する。	実施回数	2回	5回	5回	2回	2回
2	外国人市民の文化芸術活動の参加促進 【文化振興課、国際化協会】 文化芸術イベントへの参加を促進するため、外国人市民向けの情報誌に掲載する。	外国人市民向けの情報誌への掲載件数	1件	1件	1件	1件	1件
3	つま読み書きの部屋の開催 【国際・男女共同参画課、NPO法人かながわ難民定住援助協会】 日本語が母国語でない外国人市民の社会参画を促すため、日本語教室を開催する。	実施回数(参加者数)	27回 (31人)	16回※ (25人)	中止※	3回※ (3人)	15回 (22人)
4	やまと世界料理の屋台村の開催 【国際・男女共同参画課】 食を通じて、市民に外国文化への興味を持ってもらうため、やまと世界料理の屋台村を開催する。	総来場者数	6,000人	6,000人	中止※	中止※	中止※
5	やまと国際交流フェスティバルの開催 【国際化協会】 文化芸術を通して、多文化共生を楽しみながら体感できる交流イベントを開催する。	総来場者数	703人	650人	中止※	中止※	328人
6	海外アーティストを招聘した公演およびその関連事業の開催【やまと芸術文化ホール】 海外で活躍するアーティストによる質の高い文化芸術に触れる機会を提供する。	公演数(入場者数)	8件 (3,781人)	4件 (1,802人)	中止※	中止※	2件 (878人)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況

	評価・課題	対応状況
R1	東京2020競技大会が延期となったことから、引き続き国や県の動向を注視しつつ、文化プログラム推進事業等を活用しながら、外国人市民を中心とした国際色豊かな文化芸術活動への機運を高めます。	新型コロナウイルスの影響により、従来の事業が中止となりました。東京2020競技大会が延期となり、昨年度に引き続き、文化プログラム推進事業のPR活動に努めました。
R2	文化芸術に期待する役割に「多文化共生」を挙げる市民の割合が上昇しました。新型コロナウイルスの感染状況に注視しつつ、さらに日本文化の魅力を発信することや、多文化交流の機会を充実させ、市民の多文化共生意識を醸成していけるよう努めます。	東京2020競技大会の開催に伴う文化プログラム推進事業により、日本の伝統文化(華道や書道等)を広く伝える展示を行いました。しかし、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小したことから、外国籍の方が参加するイベントまでは至りませんでした。
R3	「やまと世界料理の屋台村」の認知状況が、過去2年間中止にもかかわらず、増加しています。新型コロナウイルスが収束した際には、国内外から多くの方が来場されるイベントに定着させていきたいと考えます。また、海外アーティストを招聘した公演等についても、質の高い文化芸術に触れられる機会を充実させていきたいと考えます。	新型コロナウイルス感染症の制限緩和により、事業が再開され、実績数値等は回復傾向にあります。また、指定管理者の事業では、海外アーティストを招聘した公演等については、フラダンスの本場ハワイより、世界一の称号を持つダンサーを招聘し、本格的なハワイアンステージの鑑賞機会を提供しました。
R4	コロナ禍で中止となっていた、やまと国際交流フェスティバル事業等、一部が再開されましたが、事業中止前の半分程度の入場者数にとどまっています。中止期間中に事業の認知度が低下したためと考えられるため、再度、国際化協会等と連携し、外国籍市民への周知を強化する必要があります。	
R5		

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標5 大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

具体的方策	5-1 文化芸術に関する情報発信力の強化
	重点方策 文化芸術に関する情報を集約し、その魅力が適切に伝わるよう目的や対象を明確にしたうえで、スマートフォン等のICTおよびSNS等を活用した幅広い情報発信に取り組みます。
	5-2 多くの人を惹きつける文化芸術イベントの開催 大和の文化芸術の魅力となっている「神奈川大和阿波おどり」や「中央林間手づくりマルシェ」、「渋谷よさこい」等の観光文化イベントの実施や開催支援をします。また、「やまと芸術文化ホール」を中心とした大規模な文化芸術イベントを実施します。
	5-3 文化芸術の振興に寄与した人の顕彰 市内を中心に優れた創造、創作活動を行っている芸術家や、大和の文化芸術の発展に貢献された人を顕彰し、これら文化芸術の担い手とその活動を大和の文化芸術の魅力として市内外へ発信します。
	5-4 文化創造拠点と地域をつなぐ取り組みの推進 「やまと芸術文化ホール」を拠点として、市内の各文化施設等との連携事業の展開を一層図り、地域が一体となって大和の文化芸術の魅力を広くアピールする取り組みを進めます。

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	文化芸術イベント全体の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定										
目標値(R5年) 目標値の設定理由	75.0%	あらゆる情報媒体を活用するなど、文化芸術イベントを周知する取り組みを推進し、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 75.0%	H26 -	H27 -	H28 80.0%	H29 -	H30 62.9%	R1 -	R2 -	R3 65.0%	R4 -	R5

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	やまと芸術文化ホール年間利用者数 :やまと芸術文化ホール(メインホール・サブホール・ギャラリー・マルチスペース)利用者数										
目標値(R5年) 目標値の設定理由	324,000人	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 -	H26 -	H27 -	H28 121,680人	H29 306,018人	H30 255,465人	R1 225,063人	R2 43,931人	R3 104,520人	R4 182,885人	R5

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	やまと芸術文化ホールのホームページにアクセスした年間件数 :やまと芸術文化ホールのホームページにアクセスした年間件数										
目標値(R5年) 目標値の設定理由	598,000件	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。									
実績値	H25 -	H26 -	H27 -	H28 270,426件	H29 594,284件	H30 726,469件	R1 543,923件	R2 274,112件	R3 344,908件	R4 406,412件	R5

【項目4】

モニタリング項目 :計算式等	YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント :YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント数										
目標値(R5年) 目標値の設定理由	100件以上	過去5年の最多採用数(103件)を踏まえ、現状を維持することを目標としました。									
実績値	H25 71件	H26 82件	H27 92件	H28 84件	H29 103件	H30 102件	R1 107件	R2 49件	R3 54件	R4 78件	R5

■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】 概要	実績値	実績値				
			名称	H30	R1	R2	R3
1	やまと芸術文化ホール友の会会員数【やまと芸術文化ホール】 友の会を発足し、やまと芸術文化ホールでの公演をより多くの方に周知するための情報発信をします。	やまと芸術文化ホール友の会会員数の累計	4,970人	6,053人	6,317人	6,840人	7,648人
2	やまと芸術文化ホールの稼働率【やまと芸術文化ホール】 やまと芸術文化ホールを適切に運営するため、各施設の稼働率を把握します。	やまと芸術文化ホール各施設の稼働率の平均	88%	89%	54%	83%	92%
3	文化芸術イベント情報の発信【文化振興課、図書・学び交流課】 インターネットを活用し、市内文化芸術団体が主催するイベントの情報を発信する。文化芸術イベント等を掲載した生涯学習が이드ぶつを発行する。	生涯学習支援ガイド発行部数	1,500部	1,500部	1,500部	1,500部	1,500部
4	文化芸術情報サイト「大和文化百花」のアクセス件数【文化振興課】 文化芸術に関する情報発信を強化するため、市独自の情報サイトを設立します。	「大和文化百花」へのアクセス件数(ページビュー数)	-	5,751件(14,850件)	11,972件(27,813件)	15,571件(37,128件)	12,598件(18,243件)
5	YAMATO ART100の実施【文化振興課】 秋の100日間に、文化芸術団体、財団、イベント観光協会、大和市などが、市内のさまざまな場所で、連続的に文化芸術イベントを展開するプロジェクトを実施する。	参加団体数(参加イベント件数)	64団体(102件)	64団体(107件)	24団体(49件)	32団体(54件)	47団体(78件)
6	観光文化イベントの開催支援【イベント観光課】 市民、商店会・実行委員会等が行う観光文化イベントの開催支援を行う。	開催支援件数	5件	5件	0件※	0件※	2件
7	文化芸術振興条例に基づく顕彰制度の実施【文化振興課】 市内を中心に優れた創造活動を行っているアーティストや、大和の文化芸術の発展に貢献された人を対象に表彰を行う。	受賞者人数(文化芸術賞・文化芸術振興賞・文化芸術未来賞)	3人	4人	4人	4人	3人
8	文化芸術顕彰者紹介イベントの開催【文化振興課】 文化芸術三賞の受賞者を市内外に紹介するための公演、展示会を開催する。	開催回数	2回	2回	2回	1回	2回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部または全部の開催中止

■評価・課題と対応状況

	評価・課題	対応状況
R1	文化芸術情報サイト「大和文化百花」を新たに開設し、市の文化芸術に係る情報の集約やInstagramの活用にも努めました。今後はSNS等の公式アカウントを取得し、イベント等の情報発信を一層強化します。	文化の秋季節に開催するイベントを紹介するART100について、毎年全イベントに掲載した冊子を作成していましたが、事業の中止などにも柔軟に対応するよう月ごとにリーフレット作成に変更しました。
R2	新型コロナウイルスの影響により、イベントが中止になり、来場者数が大幅に減少しました。芸術文化の魅力を発信するためにも、「大和文化百花」でPRや、コロナ禍においてのイベント開催手段を検討する必要があります。	新型コロナウイルスの影響による事業の中止や変更にも柔軟に対応するため、YAMATO ART 100のリーフレットを月ごとに発行しました。また、イラストデザインコンペの展示会が実施できなかったことから、入選作品を「大和文化百花」で公開し、広く周知しました。
R3	新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたものの、YAMATO ART 100に参加するイベント数が微増に留まっています。より多くのイベントに参加してもらえるよう、周知活動に努めていきます。	コロナ禍で大幅に減少した、ART100掲載イベント数の回復のため、大和市文化芸術連合会加盟団体への通知のほか、昨年度掲載イベント主催団体等へ地道な周知活動を行いました。
R4	YAMATO ART 100に参加するイベント数が増加傾向ではありますが、目標としている100件に達していません。引き続き多くの方が参加していただけるようにPRしていきます。	
R5		